

## 第3回防火管理検討会 議事録

1. 開催日時：平成18年10月4日(水)13:30～16:00

2. 開催場所：日本電気協会 4階A会議室

3. 出席者(順不同,敬称略)

出席委員：小暮主査(東京電力),藤原副主査(関西電力),卜部(北海道電力),井川(中部電力),沢田(北陸電力),森脇(中国電力),増田(四国電力),藤井(九州電力),佐野(日本原子力発電),平澤(原子力安全基盤機構) (10名)

代理出席：羽沢(東北電力・阿部) (1名)

常時参加：小倉(東京電力) (1名)

オブザーバ：田中(日本原子力技術協会) (1名)

事務局：大東・長谷川(日本電気協会) (2名)

4. 配付資料

資料3-1 防火管理検討会 委員名簿

資料3-2 第2回防火管理検討会 議事録(案)

資料3-3 火災防護管理面における規制側(NISA/JNES)の活動紹介

資料3-4 原子力発電所の火災防護管理に関するアンケート調査

参考資料1 第21回原子力規格委員会議事録(案)

5. 議事

(1) 会議定足数確認

本検討会委員総数11名に対して代理者を含めた本日の委員出席者数は11名で、規約上の決議条件の「委員総数の2/3以上の出席」を満たしていることが確認された。

(2) 代理出席者及びオブザーバ参加者の承認

事務局より、上記の代理出席者及びオブザーバが紹介され、小暮主査より、代理出席者及びオブザーバの会議参加が承認された。

(3) 前回検討会議事録(案)の承認

事務局より、資料No.3-2に基づき、前回検討会の議事録(案)が紹介され、本内容について承認された。

(4) 火災防護管理面の規制当局の活動紹介

平澤委員より、資料No.3-3に基づき、規制当局の活動状況として以下の項目について説明があった。

(1) 国内外火災防護管理面規制の比較調査

(2) 過去の国内OSART査察時火災防護関連指摘事項からの教訓

(3) 国内外での火災事例について

(4) 消防庁発行の「原子力施設等の消防活動対策マニュアル」

(5) 民間規格への反映事項について

議論の結果、各調査事項を反映した具体的な規格目次案を基に継続検討していくこととして、今回は火災防護管理面検討WGでの検討結果のうち、民間規格への具体的な反映事項について、平澤委員から紹介いただくことになった。

本件に関する主な意見は、以下のとおり。

- a . OSART の指摘は、規制側規格である R・G に照らした推奨事項なのか、IAEA のオリジナルなチェック項目なのか。

IAEA のチェック項目である。2 つの規格基準があり、規格基準以外のものもファクターとして取り入れている。

- b . 今後の規格のあるべき姿・骨格ができており、規制側の最低限要求事項になるのか。今後のアンケート調査により、事業者の実態を把握した上で、どこまで規格に反映していくかが課題になる。

- c . 資料 3-3 の添付資料 1,2 における日本の指針・基準・法令等の空白部はどうなるのか。

本防火管理検討会での指針化が出来上がれば、日本の指針として言及されることになる。

- d . 消防庁のマニュアルからの反映事項が多いが、こういった視点からか。

消火活動に係る事前対策は、平成 11 年作成指針案には触れられてなかったが、特に原子力設備としては重要であり盛り込んでいる。消防庁のマニュアル策定には原子力安全・保安院をはじめ、原子力関係者が参画されていた。

消防庁のマニュアルは消防機関が行うものだが、事業者も協力して行わなくてはならないことがあるので、そこを事業者が行うこととして規格に盛り込むことにしたい。

各消防署の対応が多少違うことを考慮して、対応例として一覧表にまとめて解説に記載する案もある。

( 5 ) 火災防護管理に関するアンケートの検討

平澤委員より、資料 No.3-3 に基づき、前回提案された、火災防護管理についてのアンケート調査表の説明があった。今後の防火管理検討会での審議、検討に必要なと思われる項目を抽出したもので、次回までに平澤委員がアンケートを取りまとめ、提示することになった。

次回検討会までの予定は以下のとおり。

- ・アンケートとアンケート例の電子情報を事務局より委員に配信； 10月5日(木)
- ・追加アンケート項目の反映； 10月11日(水) 事務局へ連絡
- ・アンケートの希望回答期限； 11月1日(水) 事務局へ連絡
- ・アンケートの取り纏め； 11月8日(水) JNES平澤委員
- ・アンケート結果報告； 11月9日(木) 第4回防火検討会にて報告

注) 第3回防火管理検討会終了後、消防庁・保安院・原子力事業者で検討されている「消防機関と原子力事業者等との連帯などに関する検討会」からのアンケートが事業者に発出していることが判明。防火管理検討会からのアンケートが重複することから関連及び両アンケートへの対応方針等を各委員宛説明し、時期を遅らせて実施することになった。

- ・アンケートの委員への配信；10月17日(火)以降、事務局より配信

- ・ アンケートの希望回答期限；11月17日(金) 事務局へ連絡
- ・ アンケートの取り纏め；11月29日(水) JNES平澤委員
- ・ アンケート結果報告；第5回防火管理検討会(12月14日(木)予定)にて報告

(6) その他

- a . 事務局より、電源開発(株)および消防庁の方に当検討会に参加してもらえるかの紹介があった。電源開発(株)からは現状での参加は無理である旨の連絡があったが、再度要望があり、事務局で再度確認することになった。また、消防庁からは消防大学校 消防研究センター・鶴田様が参加されることになり、平澤委員より、鶴田様との面談状況が紹介された。鶴田様は次回検討会(11月9日予定)に参加いただく予定で、検討会の了承を得て、次回運転・保守分科会(11月10日)で承認を得る予定。
- b . 次回運転・保守分科会では、本検討会進捗状況の報告は行なわないが、11月2日の大橋分科会長への事前説明には事務局から状況を報告する。
- c . 次回防火管理検討会開催は、11月9日(木)午後の予定。議題は規制当局における具体的反映事項の紹介、アンケート結果の報告と規格への反映事項の検討を予定。

以 上